2010年度
第４回定例会
（11月25日～12月14日）

くらし応援の区政を

きくち幸江、正保みきお議員が本会議質問を行いました

認可保育園の緊急整備を

きくち幸江議員

青年の就労支援に本腰を

きくち議員は、まず依然として深刻な雇用問題に区としての取組みを求めました。

政府に対し労働者派遣法の抜本改正やサービス残業の是正など人間らしく働けるルール作りを求めること。とりわけ、卒業予定の就職内定率が低く、引きこもりや無業青年が広がっている状況への支援が緊急に求められるとして、本業の学業を保証する就活のルールを作ること、区として相談窓口の設置や関連部署での連携で、家族も含めた支援をただちに行うよう求めました。

非正規職員の待遇改善を

また、江東区自身の非正規雇用を増やす方針を改め、職員数の３割を占める非常勤・パート・アルバイト職員の給与や健康診断・研修の実施など待遇改善を求めました。

保育を儲けの場にするな

きくち議員は、政府が新しい保育制度として検討している「子ども・子育て新システム」について、保育に対する自治体の役割を後退させ、拙速な幼保一元化や最低基準の引き下げで企業参入をはかり、保育を企業のもうけの場に変えるものと批判。子供の成長・発達を基本とした認可保育園の緊急整備を国と自治体の責任で行うよう求めました。また、他区に比べて高い保育料の引き下げ、認可外保育料の軽減策の拡充を求めました。

少人数学級ただちに実施を

きくち議員は少人数学級について、学習面でも生活面でも効果があると文部科学省も認めている。確実な実施を政府に求め、区として教室の確保をすべきと求めました。

学校選択制は見直しを

また、10年目を迎えた学校選択制では、学校規模が偏り教育上問題である。地域とのつながりも壊されているとして選択制の見直しを求めました。

教育費負担を減らして

また、区議団の行ったアンケートで「教材費や修学旅行費などの負担が大変」との声が多く寄せられていることを紹介し、就学援助の対象の拡大、教材費負担の軽減を求めました。

築地市場の豊洲移転

ずさんな土壌汚染対策

食の安全守れない

正保みきお議員

石原都知事が築地市場の豊洲移転を強行し、山﨑区長が「移転協議を行う」と表明したことに対し、正保議員は「移転予定地は、高度に汚染された土地であり、東京都の欠陥だらけの土壌汚染対策では食の安全は守れない」と批判。共産党区議団が実施した「区民アンケート」に１４００通の回答が寄せられ、築地市場の豊洲移転について「賛成」が19％、「反対」が51％と反対が圧倒的であることを示し、受け入れ方針の白紙撤回、築地での再整備を求めました。

国民健康保険料の引き下げを

国保料の値上げが続き、滞納世帯が加入世帯の４割を超える異常な事態。それに追い討ちをかける算定方式の変更による保険料値上げは許されないとし、「払いたくても払えない」高い保険料を引き下げるべきとただしました。

また、政府がすすめている都道府県単位の国保の「広域化」は、「さらなる保険料の大幅値上げ、強引な保険料徴収や給付の抑制などをもたらすものだ」と指摘し、「広域化」に反対するよう求めました。

スピードをもって特養ホーム増設を

介護保険制度が施行されて10年。来年の法改正、再来年の制度改正に向け、（一）保険料・利用料の負担軽減（二）特養ホームの待機者解消（三）地域ケアの充実（四）介護人材不足の解消と介護報酬の引き上げを提案。

特養ホームについて、公有地の活用、都営住宅やUR住宅、マンション等の新築・改修に合わせて併設するなど提案。区は、「その整備手法を検討している」と答弁しました。

議会日程（予定）

2／9	臨時会本会議
15	請願陳情締切日
23	本会議
24	２０１０年度予算審査
25 ← 3／3	２０１１年度予算審査
4	企画総務委員会
7	厚生委員会
	建設委員会
8	区民環境委員会
	文教委員会
9	本会議
10	清掃港湾・臨海部
11	防災・まちづくり
14	南北交通
15	医療・介護保険
17	本会議